



京機会ニュース

No. 32 平成25年(2013年)春号

桂キャンパス移転のため、新住所に変わりました

京機会事務局 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
Cクラスター総合研究棟III (b棟4階S13室)

TEL&FAX:075-383-3713 URL:<http://www.keikikai.jp/>
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp



祝 京機短信

～ 200号を突破しました～

京機短信は、産業界と大学機械系教室との共同戦線を構築して、双方の利益を図るため平成17年10月5日に創刊され、平成25年1月20日号を以って、通算200号に達しました。

創刊以来、編修者である久保愛三氏(S41)のご尽力により、会員各位に広くご愛読いただいています。今後も、皆様には、積極的にご寄稿を給わりたくよろしくお願ひいたします。



京機会春季大会のご案内

～ コンセプトは「温故知新」! ? ～

平成25年度春季大会・総会は、関東支部主催により、4月13日(土)に開催いたします。

この数年で、東京は大きく変貌を遂げつつあります。東京スカイツリーはその象徴的な建造物です。また、東京駅周辺も最新の技術によって、古き良き伝統的な建物が昔の姿のまま復原されています。会場の日本工業倶楽部、特別見学ツアーを行うJR東京駅・三菱一号館は、その代表例です。



今回の春季大会では、見学や講演を通じて、東京スカイツリーや伝統的建物のリノベーションと技術の関係を感じていただければと考えております。また、東京駅周辺は多くの観光スポット、ブランドショップが集中しております。



三菱一号館見学では、「奇跡のクラーク・コレクション展」の鑑賞の時間も設けております。

ビエール=オーギュスト・ルノワール 《劇場の枝敷席(音楽会にて)》1880年、油彩/カンヴァス、クラーク美術館所蔵 Image © Sterling and Francine Clark Art Institute, Williamstown, Massachusetts, USA

当日は、ご家族揃って、東京をご堪能下さい。

●春季大会・総会の案内はP. 2～3をご確認下さい。



桂キャンパス(物理系)

～ いよいよ開校です! ～

いよいよ3月末に、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻を含む工学研究科物理系専攻が桂キャンパス移転を完了し、4月から開校の運びとなります。

今号では、新しい物理系校舎を中心に紹介し、皆様のご来校をお待ちしたいと思います。



●桂キャンパスの様子はP. 12をご覧ください。



京都大学デザインスクール開講

～ 諸学の知を融合したデザイン学の誕生～

京都大学では、5年一貫の博士課程教育リーディングプログラム「デザイン学大学院連携プログラム」を2013年4月から開始します。

本プログラムは、異なる分野の専門家と協働して「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザインできる博士人材を育成します。

同プログラムの中で、機械系専攻群(機械工学領域)も、広領域のデザイン科目群を開講します。

平成25年度 京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。
ご家族の参加も歓迎いたします。多数のご出席をお待ちしております。

■ 日 時：平成25年4月13日(土)

■ 会 場：日本工業倶楽部会館

東京都千代田区丸の内1丁目4番6号
Tel：03-3281-1711 (代表)
J R 東京駅 丸の内北口から徒歩2分
地下鉄丸の内線 東京駅下車
地下鉄東西線・千代田線・三田線・
半蔵門線 大手町駅下車



工業倶楽部会館は、実業家の親睦を目的とした社交クラブの建物で、第一次世界大戦による工業の発展、昭和初期の大恐慌、戦争、敗戦、復興、経済成長を通じて常に経済界の大きなドラマの舞台であり、財界の記念碑的な存在でした。

■ 春季大会／総会スケジュール

I. 講演①：13：00～13：50

「設計図面のデジタル化（タイタニックと三菱一号館）」

井手 亜里 氏（S52、京都大学 機械理工学専攻 教授）



II. 総 会：14：00～14：50

III. 講演②：15：00～15：50

「スカイツリー建設クライミングクレーン技術紹介」

髙森 正憲 氏（IHI 運搬機械(株) 運搬システム事業本部）



IV. 懇親会：16：00～

■ 会 費(懇親会費)：

2002年以前に学部卒業の方	10,000円	2003年～2007年に学部卒業の方	8,000円
2008年以降に学部卒業の方	5,000円	現役学生及び新入社員の方	3,000円

同伴ご家族は無料

● 自由な服装でお越しください。

● 出欠等のご連絡は、**4月1日(月)まで**に、ホームページまたは同封のはがきでお寄せ下さい。

同伴者がおられる場合は、はがき回答欄にチェックの上、同伴者のお名前も記載下さい。
京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) から、申し込みできます。WEB申込の場合は、同伴者のお名前も個別に登録下さい。同伴者登録の際、卒業年次項目は会員の学部卒業年次を登録下さい。
但し、二重受付登録防止のため、出欠回答は「はがき」か「WEB受付」のどちらか一方をお願いします。

■ 講演会・総会以外にも魅力的な行事を企画いたしております。(次頁参照)

特別見学ツアーならびに翌日行事に参加希望の方は早目にお申し込みください。
写真同好会以外は、先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

春季大会 特別見学ツアーのご案内

総会前に、皆様楽しんでいただけます行事をご用意いたしました。

各ツアー共に参加定員がありますので、お早めに申込ください。

<春季大会・総会出席者対象の特別企画です。春季大会・総会と共にお申込下さい。>

■ 特別見学ツアー：4月13日（土）10：00～12：00

(1) 三菱一号館 見学ツアー <参加費：無料、先着50名>



1894年に建設された煉瓦造の建物。三菱地所で丸の内再構築計画の全体計画、日本工業倶楽部会館保存活用計画、三菱一号館復原計画に従事された恵良様から復原に関する説明を受け、普段見る機会のないバックヤードを見学させていただきます。

また、あわせて三菱一号館美術館の見学も行います。井手先生の講演と関連がありますので、ぜひ見学をお勧めします。

(2) JR東京駅 見学ツアー <参加費：無料、先着25名、申込締切 3月22日（金）>



一大観光名所となってしまった東京駅。日々、赤煉瓦駅舎ならびにドームには大勢の人が押し掛け、カメラでパシャパシャ大変な騒ぎです。

復原された東京駅について、説明及び普段見る機会のない部分を見学させていただきます。

(注) 当日、国などの行事が入りました場合、見学は中止となる場合があります。

- 参加希望の方は、三菱一号館ツアーは4月1日（月）、東京駅ツアーは3月22日（金）までにホームページまたは同封のはがきでお申込み下さい。
申込多数の場合は先着順で締め切り、ご参加いただけない場合もあります。ご容赦下さい。
- 集合場所などの詳細は、参加者に別途、ご案内いたします。

春季大会 翌日行事のご案内

翌日も皆様楽しんでいただけます行事をご用意いたしました。

■ 翌日行事：4月14日（日）

(1) 第7回 写真同好会 <皇居東御苑コース>

恒例の写真同好会撮影会を、皇居東御苑を中心に行います。皆様こちらにもぜひご参加ください。散策だけ楽しんでいただくことも大歓迎です。

●集合：10時00分 東京駅赤レンガ丸の内中央口前集合

詳細は、参加申込みいただいた方に、別途ご案内いたします。

世話人 関東支部副支部長 江上秀男

090-8672-1486 e-mail: hegami@smile.ocn.ne.jp



(2) ゴルフ会

江戸崎カントリー倶楽部 (<http://www.edosaki-cc.co.jp/>)

茨城県稲敷市羽賀2048番地 電話：029-892-2711

プレー費 25,000円、参加費 3,000円

集合9時、東アウトコース 9時43分から3組

交通：JR常磐線で上野～佐貫まで47分、佐貫からクラブバスが出ています。



- 詳細は、京機会ホームページ「平成25年度京機会総会併設ゴルフ会開催の件」をご参照下さい。
- ご出欠等のご連絡は、4月1日（月）までに、ホームページまたは同封のはがきでお寄せ下さい。
- 詳細は、参加者に別途、ご案内いたします。

会長ご挨拶

以前の京機会は、会長もいない非組織的なもので、3年に一度の名簿の発行と年に2度の大会だけで、その参加者は高齢の方がほとんどでありました。しかし、1997年に組織化され、事務局の整備と支部の設立が



なされ、多くの人に参加するようになりました。さらに、学生会の結成により若い人の参加も増えました。関西支部の京機カフェのように同好の士の集まる場もでき、気軽に楽しめる同窓会になりました。また、おもに京機会員からなるNPO法人京都イノベーションリソースは産官学連携の社会活動をしています。今や、学科の同窓会としては、日本で最も充実したものであります。しかし、会員総数7374名(逝去者を含むと8930人)のうち、行事に参加する人は500人程度で、会費を納めている人は2549名ですが、これを多いと見るか少ないと見るかは議論の分かれるところです。

同窓会の役割としては、会員への寄与と大学への寄与があると思います。前者は名簿の管理と会員が行事をするときの情報提供です。後者は学生の工場見学や社会人によるセミナーなど教育への寄与と産学連携への協力です。また、京都大学同窓会では、アメリカのように寄付を求めています。後者に関しては、京機会は見学旅行の支援や学生と先輩の交流会に見られるように十分役割を果たしています。

さらに、同窓会の人脈を仕事に生かすことができれば実益上も価値があります。これは、個人的にはかなり実行されていますが、組織的にはほとんど行われていません。関西支部の京機カフェ・ビジネスクラブの成否が試金石になると思います。

ところで、京機会には、戦前から大阪で毎月9日に集まる九日会というのがありました。戦後は1952年に再開されましたが、その時の記録を見ると、梅田の阪急百貨店8階特別食堂で17～20時に開催され、会費は500円とのことです。当時、若手で世話役をしていた森川龍一さん(1950年卒)によると、『毎回20数人の教員や企業人が集まった。若手の月給が6000円の時に、毎月500円は大金であったが、大学の先生や関西財界で活躍されている京機会先輩と親しく話をし、情報と人のネットワークを形成したことが、仕事でとても役に立った。』とのことです。

京都大学の卒業生は一匹狼で群れをなさないから同窓会にはなじまないという人もいます。しかし、狼は群れで狩りをし、はぐれた狼は飢え死にします。狼に食われる羊も群れで身を守ります。京大生が狼であれ、羊であれ、人脈や情報網を持つことは必要です。この人脈と情報網の形成に同窓会是最強の武器になります。同窓会の懇親会では、初対面の人達が、警戒心を持たずに、まるで何年来の友であるかのように和気あいあいと懇談しています。

楽しみにも仕事にも役立つ会にしたいと思います。

松久 寛(S45)

教員の異動

異動

◆池田 徹准教授：平成24年10月1日
鹿児島大学理工学研究科機械工学専攻 教授に昇任

退職

◆牧野 俊郎教授：平成25年3月31日 定年退職予定
◆宮崎 則幸教授：平成25年3月31日 定年退職予定
◆城山 友廣助教：平成25年3月31日 定年退職予定

京都大学デザインスクールが、4月にオープンします

博士課程教育リーディングプログラム「デザイン学大学院連携プログラム」が始動し、
京都大学デザインスクールが、2013年 4月にオープンします。

KYOTO UNIVERSITY
DESIGN SCHOOL

同プログラムは、多角的な視点から物事の本質を深く研究する京都大学の伝統を活かして、異なる立場・領域に属する多くの関係主体のコラボレーションによる人材育成を目指します。

具体的には、産学官連携、国際連携、大学間連携による教育の推進を目的として、本学の吉田、桂、宇治キャンパスと京都市立芸術大学のハブとなるデザインイノベーション拠点京都リサーチパークに設立し、リーディング大学院を可視化します。本拠点を産学官により運営し、リーディングプロジェクトや、問題発見型/解決型学習 (FBL/PBL) を常時社会に開放します。このように、リーディングプログラムを対外的にオープンにした活動を「京都大学デザインスクール」と通称し、社会と共に教育研究を行う姿勢を広く世界に伝えます。

● お問い合わせ先 E-mail: contact@design.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/>

平成24年度京機会秋季大会・総会のご報告



日時：平成24年12月8日(土)
総会：京都大学時計台百周年
記念館百周年記念ホール
懇親会：同記念館国際交流ホール

今回は本部主催で、会員とご家族ならびに交流会出席者と合わせ、延べ約430名もの方々にご参加いただき、盛況な大会となりました。

－ 総会 －

榎木哲夫代表幹事(S56)の過去最大数の出席者へのお礼を込めた開催挨拶により開会し、松久寛会長代行(S45)から挨拶をいただいた。榎木代表幹事より、大学・教室の現状、日本学術振興会の海外若手派遣や文科省の博士課程教育リーディングプログラム等への取組みの紹介後、昇任・新任教員および教員の異動(転出)の紹介があった。



その後、評議員の幹事への名称変更、会長代行の手続きに関する取決めについての会則の改正が提案され、承認された。

続いて、次期新会長として松久会長代行・副会長の就任が承認された。松久新会長より、15年前から始めた京機会の改革や支部・学生会の設立、会員にとって役立つ様々な活動を行う学科規模としては日本一の同窓会である事を紹介する就任挨拶がなされた。



その後、榎木代表幹事より平成24年度上半期の京機会活動の報告があり、その活発な活動を見学に来た東北大学機械系同窓会関係者の方が本総会にご来訪されていることの紹介があった。さらに、名簿担当の中西弘明幹事(H3)より、今回からCD版となった京機会の名簿発行について紹介があり、その表紙面について作者の中尾美園さんより説明があった。

続いて、小川貴臣(3回生)プロジェクトリーダーよりフォーミュラカープロジェクトKARTの活動・成績報告があった。



最後に、榎木代表幹事より、関東支部主催平成25年度春季大会・総会が4月13日(土)に日本工業倶楽部で開催されること、本部主催の平成25年度の秋季大会・総会が11月23日(土・祝)に、学生と先輩との交流会が12月14日(土)に桂キャンパス船井哲良記念講堂で開催されることが紹介された。

－ さよなら吉田キャンパス「思い出の光景」－



榎木代表幹事より「さよなら吉田キャンパス」アルバム企画実行委員会によって収集された資料・写真を基に、京都大学創立以来の機械系の歴史が紹介された。懐かしい写真に関係者の飛び入りの説明が加わり、吉田キャンパスの思い出を懐かしんだ。

－ 特別講演会 －

松久会長の司会のもと、講演会では、中村久志氏(S56)より、「2012年機械遺産認定 ウォシュレット開発物語～日本のトイレの進化～」について講演があった。日本の生活様式を変えたウォシュレットの自主開発前夜から消費電力の制限による困難とそれを乗り越えたアイデアと取組み、最新の環境配慮の面など、絶え間ない革新の歴史について、当時の世相などの時代背景を交えつつ、紹介があった。



－ 桂キャンパスへの誘い －



蓮尾昌裕幹事(S61)より、工学研究科の桂キャンパスへの移転の経緯と9月末に竣工した新校舎の状況、12月から始まる物理系専攻の引越しについて紹介された。

－ 懇親会 －

塩路昌宏幹事(S50)の司会進行により開会した。松久会長の挨拶に続いて、北條正樹幹事(S54)より教室代表として現状報告があった。その後、藤川卓爾前会長(S42)より乾杯の発声をいただいた。過去最大数の歓談の絶えない大盛会となり、懇親のひとときを楽しんだ。中村吉伸関東支部長(S53)より東京にて開催予定の平成25年度春季大会総会についてのアナウンスと挨拶があり、続いて大山勇己京機会学生会会長(H23)より、京機会と各位の今後の益々の発展を祈念した一本締めが行なわれ、名残を惜しみつつ閉会となった。



● **平成25年度秋季大会・総会は、11月23日(土)に、桂キャンパス船井哲良記念講堂にて開催予定です。**



支部だより

関西支部からのお知らせとご報告

平成25年度 支部総会・新年会の報告

平成25年1月19日(土) ホテルグランヴィア大阪

・支部総会 (17:00~17:40、出席106名)

平成24年度の支部各種活動報告を行った後、24年度決算、25年度役員・活動計画・予算の審議を行い、原案通りに可決されました。新支部長に小谷重遠氏(S44)が、新事務局長に小宮山優氏(H12)が就任しました。

・新年会 (17:45~19:45、参加116名)

小谷支部長(S44)の挨拶、京機会松久寛会長(S45)の挨拶、大学代表杉江俊治教授(S56)の近況報告の後、参加最年長の野木圭三氏(S25)ご発声の乾杯で、学生や社会人も交えた世代を越えての賑やかな宴が始まりました。途中、学生フォーミュラー「KART」の活動報告では、着実に実力を上げていることが紹介されました。

最後は平成25年度当番会社(パナソニック(株))代表野村剛氏(S51)の挨拶、平成26年度当番会社(㈱神戸製鋼所)代表川崎博也氏(S53)の挨拶、恒例の「琵琶湖周航の歌」大合唱の後、関西支部顧問の並木宏徳氏(S44)の万歳三唱で締め、終始にぎやかで活気に満ちた新年会となりました。



下期の活動報告と今後の予定

■ 産学懇話会

第37回:平成24年10月6日(土) 参加者:44名

- ・場所:京都大学工学部物理系校舎216室
- ・講演-1:「日本の電機業界の現況と課題—今後の復活の道は?」大阪大学特任教授 長野寛之氏(S53)
- ・講演-2:「プラズマを用いた超微細プロセスの昨今話題」京都大学准教授 江利口浩二氏(H1)

■ 異業種交流会

第33回:平成24年11月16日(金) 参加者:20名

- ・見学:㈱ユーシン精機
- ・講演:「射出成形機用取出口ロボットの現状と将来技術」㈱ユーシン精機 常務取締役 大立泰治氏



■ 京機カフェ

※詳細・申し込みは、[関西支部HP](#)を参照下さい。

● MOT研究会

第45回:平成25年2月22日(金)

場所:大阪弥生会館

講師:京都大学 経済学部教授 宇仁宏幸氏

講演:「日本の人口縮小に伴う経済的諸問題」

● 若手交流会

第14回:平成25年2月16日(土)

内容:西陣織手織り体験@京都

● ビジネス倶楽部

第1回:平成24年7月26日(木) 参加者:25名

場所:大阪弥生会館

講演:「これからの特許戦略」中尾 優氏(S60)

第2回:平成24年11月29日(木) 参加者:27名

場所:トタニ技研工業(株)

講演:「管理しない人に優しい経営」

戸谷幹夫氏(S46)

● 産業遺産探訪

第2回(予定):平成25年6月20日(木)

場所:枚方市 鋳物民俗資料館

東大阪市 鴻池新田会所

テーマ:江戸時代の金属加工と農業経営

内容:当時の状態に復元保存された施設現地を視る

第3回(予定):平成26年春季

場所:有形文化財・近代化産業遺産 大阪倶楽部会館

テーマ:戦前・戦中(1920~40年代)の産業遺産

内容:安井武雄設計の会館を細部まで見学

織田 剛氏(H2)による「飛行機」の話聴く

● ゴルフカフェ

第2回:平成25年3月7日(木)

場所:ロータリーゴルフクラブ(神戸市北区)

● 大阪あそび

第1回:平成24年10月13日(土)

参加者:12名

場所:大阪市大正区

平尾・恩加島コース

第2回:平成25年3月23日(土)

場所:大阪市平野区

平野郷「環濠都市・平野郷めぐり」

★現在、申込受付中です。詳細はHPをご覧ください。

● KMCイノベーション講演会

第1回:平成24年10月20日(土) 参加者:25名

場所:京都大学工学部物理系校舎216室

講演:「ドイツの地域イノベーションの現状と成功要因」 兼松泰男氏(大阪大学教授)

パネルディスカッション:林 完爾氏(S43)

平田誠計氏(S43)、松久 寛氏(S45)

奥平有三氏(S53)、長野寛之氏(S53)





支部だより

関西支部からのお知らせとご報告

● KMCイノベーション研究会

第1回:平成24年4月23日(月) 参加者:10名

第2回:平成24年6月20日(水) 参加者:10名

場所:共に京橋メンテック(株)会議室

● 京機私塾(U-40)

第1回:平成24年12月1日(土) 参加者:9名

場所:箕面文化・交流センター

講演:「これからのキャリア形成に必要な考え方
(リーダーとマネジャー)」

講師:香坂千佳子氏(イージーリンク(株) 取締役)

■ 京機・京都の会

開催日:3、7、9、12月の第一土曜日、11時から

毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談

場所:ウエスティン都ホテル(蹴上)

内容:京都近辺の京機会会員交流会

開催日、開催場所は再検討中で、変更になる可能性があります。詳細は京機会ホームページをご覧ください。

■ 京機九日会

・平成24年度(予定からの変更分のみ)

10/9 「最近のベトナム情勢と社会事情」

大西一男氏(S41)

・平成25年度(予定)

開催日:偶数月9日(2/9, 4/9, 6/10, 8/9, 10/9)

開催時間:11時~14時

場所:中央電気倶楽部(大阪・堂島)

幹事:S42年卒組

詳細は京機会ホームページをご覧ください。

■ ここのえ会

京机会の会員および会員子女を主な対象とした結婚支援活動組織「ここのえ会」では、より多くの出会いを実現するため入会登録者数の拡大に努めています。事務局において積極的なPRを展開するとともに、会員の皆様にも積極的な口コミPRをお願いいたします。会の詳細やお問い合わせは、京機会ホームページをご覧ください。

九州支部からのお知らせとご報告

平成24年度 秋の行事・支部総会のご報告

去る、10月27日、28日に平成24年度九州支部の秋の行事を行いました。ご家族を含め総勢42名の方にご参加頂き、創設以来最大の支部行事となりました。

27日には、西日本旅客鉄道(株)の田仲文郎氏(S55)のお計らいで博多総合車両所にて見学会と総会を行いました。九州新幹線みずほの車両内部や台車の組み立てライン、ブレーキや車輪の点検設備などを間近に見学出来ました。新幹線の超安全性の秘密は基本を大切に現場の地道な努力にあることを実感しました。



支部総会では、役員改選を行い、支部長に千々木亨氏(S54)、事務局長に角知則氏(S55)、事務局次長に入船 佳津一氏(S60)、新幹事に田仲文郎氏(S55)、保木本達也氏(H1)が選任されました。

その後、博多の海鮮居酒屋で懇親会を行いました。当日獲ったばかりのイカやヒラメの活き造りなど新鮮な玄界灘の海産物や極上焼酎(はなたれ)を皆で楽しみました。

28日のオプションツアーでは、九州鉄道記念館を訪ねました。その後、トロッコ列車で関門海峡め

かり駅へ移動し、壇ノ浦や関門海峡周辺を見学しました。昼には関門渡船で下関側の唐戸市場へ移動しふぐの専門問屋で卸したてのふぐの刺身を堪能しました。唐戸市場では普通ではお目にかかれない鯨や高級魚クエの寿司も味わいました。

快晴にも恵まれ、美しい海峡の風景と歴史、海の幸を楽しみました。



平成25年 九州支部春の行事のご案内

九州近代化遺産と歴史探訪の旅

今回は石炭文明の産業遺産と柳川の史跡を訪ねます。是非ご家族でご参加下さい。

日時:平成25年5月18日(土)

旅程:大牟田三池炭鉱万田坑跡、

石炭産業科学館見学、柳川史跡めぐり 他

料亭旅館「御花」(旧柳川藩主立花家別邸)にて懇親会を予定しております。

詳細は、京機会ホームページならびにメールでお知らせします。



第13回 関東支部総会・新年会の報告

日時：平成25年1月26日(土) 13:00~20:30

場所：日立金属高輪和彊館

■リカレント教育講座

「機械のための制御理論最前線

ー非線形・確率・学習ー」

講師：藤本健治 氏 (H6、京都大学航空宇宙専攻教授)

■総会・新年会

講演：「日本の電機産業の生きる道」

講師：山西健一郎氏 (S50、三菱電機株式会社 社長)

総会に79名、新年会に75名のご参加をいただき、盛況に開催いたしました。

リカレント教育講座では藤本先生から最新の制御理論を、また特別講演では山西社長から、三菱電機の経営戦略に関するご講演いただき非常に盛り上がりました。



総会では、来年度からの支部長に藤原健嗣旭化成(株)社長 (S44)のご着任が決議されました。新年会では、写真同好会の写真の展示や、若手が一言ずつ挨拶するなど、非常に楽しい会となりました。



●集合記念写真をご希望の場合、こちらのページから<<http://sdrv.ms/YAy7j0>>ダウンロードできます。オリジナルの画像をご希望の方は関東支部副支部長江上氏までご連絡下さい。

第11回 異業種交流会の報告

日時：平成24年11月9日(金) 14:00~17:30

場所：キヤノン(株)下丸子本社

参加人数：28名

講演：すばる望遠鏡および綴プロジェクトの紹介

見学：キヤノンギャラリー

キヤノン(株)の歴史や技術の紹介および歴代製品を多数展示する施設を見学させていただきました。講演では、巨大望遠鏡の主焦点レンズと屏風や襖絵の高精細複製品の制作の2テーマの技術的解説をしていただき、時間が足りなくなるまで活発な意見交換がされ、大変盛り上がりました。



学生工場見学会の報告

日時：平成24年9月25日~27日

見学会社：日本航空(株)、日本たばこ産業(株)、

三菱重工業(株)、旭化成(株)、(株)IHI、(株)ディスコ

今回はより多くの企業を見学してもらおうと2泊3日で計6社を見学しました。様々な業種を見学できたことで学生さんにも好評でした。24名が参加した中、二回生の方もおり、企業側のOBも就職活動の熱心さ、大変さを感じることができました。

写真同好会第6回撮影会の報告

日時：平成24年11月17日(土)

今回の秋の撮影会は浜離宮の散策としゃれこみました。当日のお天気は肌寒く、小雨模様でしたが、皆んな熱き想いで、シャッターを押しまくってきました。次回は、4月14日(日)を予定しています。初めての方もお気軽にご参加頂いています。ご家族同伴も歓迎します。



北陸、信越、東北、北海道地方の会員の皆さんへ

現在、京機会では、関西、関東、中部、中国・四国、九州の5支部が活動しております。北陸、信越、東北、北海道などは現在のところ、それらに含まれていません。これら地区は会員数が少なく、支部の構成に至っておりません。このような地区については、ご希望の方は近隣の支部の会員とすることもできます。また、長野など交通事情から考えると県ごと、関東支部に入っていただいてもいいという考えもあります。さらに、道・県または市単位で懇親会的な地区京機会を持つことも可能です。

昨年度、春季大会を開催いただいた九州支部も当初は「京機・福岡の会」から始まりました。

その後、地域に密着した親密な人的ネットワーク

のもと、毎年開催される春秋の行事には、支部内外から多数の参加者が集まる独自のスタンスを形成され、立派な支部となっております。

現在、北海道地区も「北海道の会(仮称)」設立に向けて、地元の関係各位にご尽力いただいております。北陸、信越、東北でも支部設立のご希望があれば協議させていただきます。

本部としては参加会員のうち会費納入者1名当り年750円(自主的に運営される場合)の交付金を支給すると共に、地区会員名簿の作成など地区京機会の設立に協力いたしますので応募してください。

また、近隣支部への参加を希望される場合もご連絡下さい。その他ご意見を事務局迄お寄せ下さい。



支部だより

中部支部からのお知らせとご報告

学生工場見学会・技術交流会の報告

日時：平成24年8月30日、31日 参加人数：35名
 工場見学 (株)デンソー 自動車用メーター工場
 ヤマハ発動機(株) 2輪車製造工場
 ヤマハ(株) 楽器製造工場
 講演 「デンソー夢卵5連覇の軌跡」
 (株)デンソー 川崎宏治氏

恒例の中部地区企業の工場見学会ならびにOBと学生の技術交流会が8月30、31日の両日開催されました。学生は名古屋市の産業技術記念館を見学した後にOBと合流し、(株)デンソーの自動車用メーター製造ラインと技能研修センターを見学し、多品種フレキシブル生産方式と、日本の製造業を支える技能者育成の現場を学びました。工場見学後には“発明名人”川崎宏治氏に「デンソー夢卵5連覇の軌跡」と題してオリジナルな発想でのモノ作りの大切さを語って頂きました。数々の発明品には学生らも興味津々でした。



デンソー安城荘での学生・OB懇親会

講演後、デンソー安城荘に場所を移して懇親会を行い学生・OBでコミュニケーションを深めました。

翌日31日は(株)ヤマハ発動機、(株)ヤマハにて2輪車製造ラインと楽器のモノづくり現場を見学しました。学生にとって日本のモノづくりを支える中部地区の企業活動について理解を深める機会になったようです。



川崎名人の講演

～ 数々の発明品には学生らも興味津々でした ～

支部総会のお知らせ

平成25年度中部支部総会を、平成25年4月20日(土)に開催します。会場は、デンソーDスクエア(刈谷市)です。

詳細は、京機会ホームページならびにメールでご案内いたします。多数のご参加をお願いします。

中国・四国支部からのお知らせとご報告

平成25年度 支部総会のご案内

日時：平成25年4月6日(土) 13:00～

会場：鷺羽ハイランドホテル(倉敷市)

講演：「日本刀と外国刀の科学」

福山大学 井上達雄氏(S38)

「自動車用ハイテンの強化機構と
十ノ組織制御への挑戦」

JFEスチール(株) 黒田 茂氏(S59)

特別企画：倉敷美観地区「大原美術館」見学他



例年2月開催の支部総会を、今年は4月に開催します。会場近くの下津井城跡公園での花見も計画しています。詳細は、京機会HPならびにメールでご案内しております。ご家族の参加も歓迎します。多数のご参加をお願いします。

地区交流会の報告

日時：平成24年12月1日(土)

会場：ダイワロイネットホテル岡山駅前

月の宴 岡山駅前店

参加人数：11名

JR岡山駅近くの「ダイワロイネットホテル岡山駅前」で、支部役員連絡会議を兼ね、地区交流会を開催し、相互の親睦を深めました。



学生会SMILEからのお知らせとご報告

学生と先輩の交流会の報告

日時：平成24年12月8日 参加学生：約300名

私達SMILEの活動の中でも最も大きな企画である「学生と先輩の交流会」を本年度も京都大学百周年時計台記念館にて開催することができました。今年度はSMILEのメンバーが例年に比べ少ないことで企画スタート時は不安がありましたが、ご参加企業は90社、計202名と前年度を越える方々にお越しいただきました。学生の参加人数も多く、お陰様で盛況のうちに会を終えることができました。また、同日夕方の懇親会においては、京機会総会・講演会が同日に開催されていたこともあり、例年以上に幅広い年齢の先輩方にご出席いただけ、いつにない賑わいを見せていました。



本交流会の開催に際して多大なるご協力を賜った先輩の皆様、先生方、そして京機会の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。

各地区工場見学会の報告

日時：【中部】平成24年 8月30日～31日

【関東】平成24年 9月25日～27日

例年実施している中部、関東地区工場見学ですが、本年度は関東地区工場見学の日程を1泊増やし、2泊3日で開催しました。見学先は、中部地区工場見学



関東工場見学の風景

では、産業技術記念館・(株)デンソー・ヤマハ発動機(株)・ヤマハ(株)、関東地区工場見学では、日本航空(株)・日本たばこ産業(株)・三菱重工業(株)・旭化成ケミカルズ(株)・(株)IHI・(株)ディスコです。どの工場見学においても普段決して見る事の出来ない現場での作業風景や最新技術に触れることができ、参加学生にとっては非常に有意義な時間となりました。

学生KARTからのお知らせと報告

私たちKARTは、いずれ日本を支えていくことになる学生達が、レーシングチームという組織の中で、座学では学ぶことの出来ない幅広い経験を積み、ものづくりの面白さと厳しさを味わいながらその能力を養い、人間的にも成長していくことを目的としています。活動では車両の設計・製作のみならず、渉外、広報、会計処理、チームマネジメントに至る全ての業務を学生自らの手で行うという、いわば小さな1つのベンチャー企業のような団体です。



昨年9月に静岡県のエコパで開催された第10回全日本学生フォーミュラ大会。満を持して投入した車両KZ-RR10はそのポテンシャルをいかに発揮する筈でした。しかし幾度のテスト走行でも発見できなかったトラブルに見舞われ、エンデュランス競技でリタイヤを喫したために、総合順位は82チーム中23位と、前年よりも順位を落とす結果に終わりました。コスト審査4位、デザイン審査3位、プレゼンテーション3位、スキッドパッド2位と大会の序盤は好調であっただけに一層残念であると同時に、優勝する難しさを痛感しました。

今年度は「トラブルのないシンプルな車両」をコンセプトに掲げ設計を行いました。伝統のアルミフレームは、昨年好評を得たバルクヘッド構造に改良

を加え、さらなる軽量高剛性を実現しています。前後左右の重量バランス、剛性や空力のバランス、メカニカルロスの低減に細心の注意を払うことで、シンプルでありながら速い車両を目指しました。

1月中旬の時点でシャシの設計は完了し、フレーム等の主要部品は製作を開始しています。並行して只今エンジンベンチを製作中です。2年連続のリタイヤ原因となったエンジントラブルの対策としては、まず搭載するエンジンを純正の状態でも試験します。その後、大会ルールに適用するために装着している改造部品に一つずつ交換して、対照実験を行います。正しく動作する市販状態からうまく動作しなくなるまでの変化を追うことで、すべての問題因子を洗い出します。

大会のリタイヤの後、京機会の皆様より多くの助言、激励のお言葉を頂きました。私たちの活動を気に掛け、応援してくださっておりますことに、この場をお借りして御礼申し上げます。悲願の優勝までの道程を常に思い描き、日々精進して参りますので、これからも温かいご声援を宜しくお願い申し上げます。



京都大学
フォーミュラプロジェクトKART
2013年度プロジェクトリーダー
大橋一輝
<http://www.formula-kart.org>

学生会員へのお知らせ

< 修了・卒業されるみなさんへ >

大学院学位記授与式・卒業証書授与式のご案内



本年度、教室では、桂キャンパス桂C3棟講義室1にて、3月25日(月)17時45分から機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位記授与式を行います。3月26日(火)は、12時から吉田キャンパス物理系校舎315室で卒業証書授与式を行います。

修士修了記念パーティーのご案内

学位記授与式(3/25)終了後、京機会主催の記念パーティーを開催します。本会は2013年度に新社会人となる学生会員が対象で、博士修了・学部卒業の学生会員も参加下さい。記念写真撮影も予定しています。

卒業記念品(名刺入れ)の贈呈

社会人になる方には、京機会特製名刺入れを贈呈いたします。(2013年度会費納付が前提です。)

< 機械系に在籍のみなさんへ >

入会&データ登録のススメ

学生向け情報も、多数配信していますので、京機会へのE-mailアドレス等のデータ登録をお願いします。

■ 平成25年度も、全会員向けの企業見学や、2回生向けの関西地区の企業見学を開催予定です！

< 新修士学生会員のみなさんへ >

「京機会 海外へチャレンジ・臨坂基金」に応募ができます。申請方法は、随時、E-mailにて案内します。



臨坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。状況により修士以外の学生会員の応募も可能です。

会費納入のお願い

平成25年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

●インターネットバンキングもご利用できます。

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く。))

■ 口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630
郵便振替口座 00990-8-116821

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機会HPの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

●京機会費自動引落のお勧め

各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。

また、京機会HPの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。

振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

Cクラスター総合研究棟Ⅲ 京機会事務局

②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引き落とされます。再来年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

各種詳細は京機会HP(<http://www.keikikai.jp>)の「会費納入のお願い」のページをご覧ください。

●永年会員登録のお勧め

1976年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成24年度ご寄付者(H24. 9. 26~H25. 2. 6)

岩崎 恵二 様(1952) 森 淳暢 様(1964)

桂キャンパスへの誘い

京機会ニュースNo.29では、大学の近況報告として、桂キャンパスの概要や物理系専攻移転の経緯等を紹介しましたので、今回は新しい物理系校舎を中心として紹介し、皆様のご来校をお待ちしたいと思います。



アクセスと校舎の概要



最寄り駅は阪急京都線桂駅とJR桂川駅で、バスに乗り換え、桂キャンパスまでそれぞれ10分、20分程度で到着します。タクシーだと約10分、1500円程度になります。国道9号線を京都大学桂キャンパスの道路標示に従って曲がり、坂道を登ると、下から順にAクラスター、Bクラスター、さらに物理系校舎があるCクラスターが見えてきます。Cクラスターの最寄りバス停は「桂御陵坂」です。

Cクラスターには既に建築系専攻、地球系専攻が移転しており、その東側に物理系専攻の校舎(Cクラスター総合研究棟Ⅲという名称)があります。住宅地に近いことより、景観等の観点から地階が実験室フロア(地下2階:工学研究科RI施設、地下1階:物理系専攻実験室)、地上階が講義室・ゼミ室や居室となっています。

Cクラスターのロータリーからそのまま進むと地下1階のレベルとなり、直接実験室横の道路につながります。一方、ロータリーから階段を上がると1階のレベルとなり、しばらく進むと右手にテラスを備えたカフェテリアがあり、その先に物理系校舎のメインエントランスがあります。

Cクラスターのロータリーからそのまま進むと地下1階のレベルとなり、直接実験室横の道路につながります。一方、ロータリーから階段を上がると1階のレベルとなり、しばらく進むと右手にテラスを備えたカフェテリアがあり、その先に物理系校舎のメインエントランスがあります。

京機会事務局へは廊下を歩いてb棟へお進み下さい。その最上階(4階)に社会連携室 京機会(b4S13室)があります。京都市南部の見晴らしの大変良い部屋です。是非お立ち寄り下さい。



教育・研究・環境

桂キャンパスへ移転するのは大学院工学研究科です。そのため、修士・博士課程の大学院生は講義を含め、桂キャンパスに通うことになります。所属研究室が桂キャンパスにある学部4回生も、卒業研究を桂キャンパスで行います。

大学院の講義室として、170人程度の収容能力がありAV設備の充実した大講義室や、各机でパソコン接続が可能な中講義室、吉田キャンパス等との遠隔講義が可能な遠隔講義室等を設置しました。一方、学部教育はほぼこれまで通り吉田キャンパス物理系校舎で行われ、機械システム学コースの教員控室がその3階にできます。



桂キャンパスでは、研究交流の活発化を促しています。専攻を超えた共同研究を推進する施設として、Bクラスターにインテックセンターがあります。物理系校舎にも、クリーンルーム等、研究室の垣根を超えた共通実験室が多数設置されました。また、物理系校舎内の一部の実験室と居室には、有料のレンタルラボがあります。産学連携の共同研究等にも活用できますので、皆様のご利用を是非検討下さい。

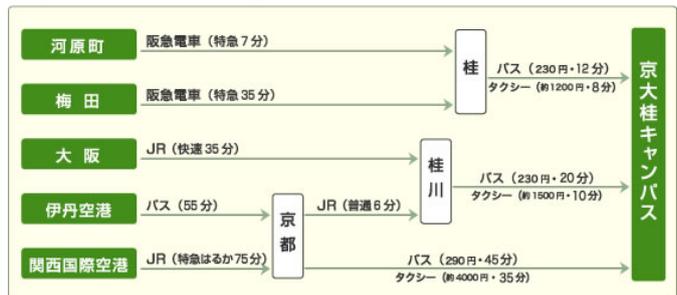
桂キャンパスは丘陵地にあることより、緑豊かで優れた景観を有している一方、生活環境面は充実しているとは言えません。主なレストランや購買はBクラスターにあるため、特に雨天時にはその利用が不便です。今回の物理系移転事業では事業者が校舎建設だけではなく運営も行っており、建物内でカフェテリアの営業をお願いしました。お立ち寄りいただいた際には是非ご利用下さい。

平成25年度秋季大会・総会、学生との交流会はいよいよ桂キャンパスでの開催です

本年度の秋季大会・総会が11月23日(土・祝)に、学生と先輩との交流会が12月24日(土)に桂キャンパスで開催されます。皆様、是非お運びいただき、京都大学の新しいキャンパスと物理系校舎を満喫ください。

(移転WGチーフ 蓮尾昌裕(S61))

桂キャンパスへのアクセス



京都駅からの最短時間ルート=JR桂川駅(京都市内駅)を利用すると吉田キャンパスより時間距離は近い(20-30分)

先輩から学生の皆様へのメッセージ(10)

はじめまして。最適化研究室(吉村研、現西脇研)出身の鯨岡絵理と申します。大学院で航空宇宙工学専攻、推進工学研究室に移った後、平成20年より新日鉄エンジニアリング(株)(現新日鉄住金エンジニアリング(株))に入社し、製鉄プラントを作る仕事に就いています。現在は日本の反対側付近、メキシコのモンテレー近郊にてプラント試運転の真っ最中です。



■BtoBの製品を作るエンジニアリングは、普段目につかないものであるため分かりにくい仕事です。

製鉄プラントのエンジニアリングとは何か、身近なところから紐解いていきますと、「車」のフレーム等を作る「鋼板」を作る「設備」を建設する仕事です。

私の担当セクションは、車のフレームになる直前の鋼板を製造する鋼板処理設備、その中でも鋼板の焼鈍や合金化、乾燥等を行う炉の部分です。

通常、エンジニアリングの仕事は、営業から始まって完工に至るまで数年を要します。故に早く大きな仕事してみたい、設備設計を一から追って勉強したい、と思ってもなかなか個人の希望通りにはいかないものですが、幸いタイミングに恵まれ、入社後わずか半年でメキシコに新設される溶融亜鉛めっき設備の設計者という任を得ました。

プラントは設備の設計では、設計という言葉から一番想像しやすい、材料力学を元にした強度計算に始まり、加熱冷却を行う設備では燃焼、伝熱、流体等の検討を行います。海外との対応では英会話の能力も必要とされます。もとを辿れば小学校の算数から「学問」として扱ってきた知識が実際のモノづくりに活かされるのです。嬉しさ7割、もう少し頑張っておけば良かったという反省3割といった心境でした。

こうして頭を捻って苦勞して検討した設備が、次第に紙の上で図面として形になり、製作現場で実際の製品として具現化され、更にはそれが海を越えて現地で組み立てられていく一連の流れを見ていると、純粋にモノづくりの楽しさを実感します。

現在はその組み立てられたプラントが仕様通りに動くかどうか試運転を行う段階で、1月の半ばからスーパーバイザーとしてメキシコに滞在しています。設備が所定の能力を満足していることを確認して客先に引き渡し、ひとつのプロジェクトが完成します。プロジェクトの最後の締め、しっかり詰めたと思います。

■さて、このように活発に動いておりますと、生物学的女性にとっては将来の仕事と家庭の両立が気になってくるものです。

私が工学部物理工学科に入学した年は、約250名の学生のなかで、女性はたったの6人でした。この割合は、

当然社会人になっても大幅に増加することはありません。男性の同期が働き盛りになる年代に、その隣でどのように好きな仕事を続けていくかは、このところ私の頭を悩ませているテーマであります。同時に、仕事をしたい女性共通の懸案でもあらうと思います。

私が両立の難しさに直面し、何らかの選択をしていくのはまだ先の話ですが、突然困難にぶつかって折れてしまう前に、社外の女性技術者の方々と話をする貴重な機会を得ましたので、ご紹介させていただきます。

先日より、日本機械学会内に組織された委員会であるLAJ(Ladies' Association of JSME)に参画しています。女性技術者同士のネットワーク形成や、中高生に対して工学の面白さを伝える事を目的とした会です。実を言うと、ずっと男性に囲まれた学生生活を送って来てしまったため、(残念ながらハーレム的な意味合いは皆無でした。念のため)女性が集まる会には少々勝手な苦手意識がありました。

しかし茶話会などを通して同じ技術系の企業、大学、研究所に勤める女性や、これから社会に出る学生と話をしてみると、苦手どころか、視野を拡げることの重要性を切に感じます。

自身の頭の中だけで悩んでいると、結局ベースになっている今の生活からの変化、という思考方向に固まりがちなのです。特に万人に対してのオールマイティな解などない課題では、様々な選択肢を知っていることは、問題解決への大きな手助けになると思います。

上記は女性の仕事、という一例ですが、一般的にも、特に会社という箱の中で同じ世界で働く同僚に囲まれていると、熱中し注力する程、視野が狭くなってしまいう傾向があると言われます。

もし、考えすぎてにっちもさっちも行かない時は、顔を上げて視野を拡げることによって、抱える問題をブレイクスルーするヒントを得られることもあります。

集中している時こそ、より意識的に周りを見ようになりたい、と実感した一件でした。

■最後に、学生の皆さんにメッセージを一言送ります。是非、人や物との出逢いを大事にしてください。

日本には一期一会という素敵な言葉があります。ひとつひとつの機会を拾っていった結果、仮面ライダーとボール遊びが好きだった子供は物理が好きになり、工学部に入り、バイクに乗り、フォーミュラカーを作り、メキシコで製鉄プラントを建設するようになりました。思い返すと、全ての切り替え地点には偶然のような人・物との繋がりがありました。私にとって幸運でしたが、幸運を拾うかどうかは自分の意識次第です。

周囲との繋がりを大事にしつつ、自分の好きだと思うことに取り組んでください。

特定非営利活動法人 京都イノベーション・リソースのご紹介

京都イノベーション・リソース(略称 KIR)は、京機会会員の有志が集まって2011年5月に設立したNPO法人です。

京機会関西支部の大手企業を引退した仲間が中心になり、長年にわたって積み上げた各々の経験や知識を活用して、世の中のお役に立ちたいものと考え、松久教授(当時)など先生方のご賛同も得て、スタートしました。設立以来早くも2年近くが経過し、いろいろ課題を抱えつつも、先ず先ず順調な事業展開をしています。

法人に関する詳細は、ホームページ <http://kir.or.jp> をご覧ください。

KIRの目的は、大学や企業が所有しているニーズやシーズの情報を収集し、これらを会員の持つ技術や経験と付きあわせ活用できるような場(プラットフォーム)を構築することにより、企業のイノベーションや新産業創出に貢献することであり、この目的達成のため種々の活動を行っています。



イノベーション分科会の様子

1. 京大機械系教室研究シーズ集

「メカ・グリッド」発行

京大機械系教室のもつ技術シーズの実用化をお手伝いしたいというのが、KIRの狙いの1つですが、そのために、機械系教室の研究内容紹介冊子「メカ・グリッド」を2011年暮りに発行しました。他大学では、PRの一環として、大学からの支援により、同種の冊子を発行しているようですが、我々は京機会や教室の協力をいただき、資金ゼロで発刊することができました。ご多忙の中、貴重なる原稿を執筆頂いた先生方および印刷代などの費用を賄うため会社広告などで支援いただいた企業関係者に深く感謝しています。訪問先企業などに進呈し、京大機械教室のシーズ紹介に努めていますが、今後一層の有効活用を図るべく、種々検討中です。



なお、KIRにはまだ若干の予備がありますので、ご希望の方はKIR事務局までご連絡下さい。

2. ビジネスマッチング(1)

大手企業などの技術ニーズをお聞きし、それに適合する企業、研究所などのシーズを付きあわせ、技術や経営課題解決の支援をするもので、幅広い選択肢が可能になる代表的な企業支援活動です。

KIRの前身で、京機会関西支部傘下の活動団体である京機会MOTセンター(略称KMC)時代の2008年から、我々は京都リサーチパーク(株)と協力して、京機会会員の所属するものづくり企業のご協力をいただき、効果あるマッチングを心掛けてきました。

KIR発足後の2011年には、自動車部品産業のニーズのマッチングを行いました。普段表に出てこない大手企業のニーズが公開され、信頼高い企業OBメンバーがこれを仲介しているとのことで、高い評価を得ることができました。この成果を見習い、大学またはその同窓会と、中小企業支援機関の協業によるビジネスマッチングは関東地区などにも広がりつつあります

3. ビジネスマッチング(2)

上記で紹介したビジネスマッチングとは別に、地方自治体から委託をうけ、ニーズ提供だけではなく、シーズ企業探索、評価までKIRで一貫して引き受ける試みも始めています。

昨年は大阪府からの委託をうけ、大阪府下企業の技術を全国5か所の大手企業のニーズとマッチングするプロジェクトに取り組み、表のような成果をあげることができました。ニーズ提供にご協力いただいた企業の期待に応えるため、本年も引き続いてニーズに合うシーズ探しを推進しています。

商談会開催場所	福岡	広島	大阪	名古屋	東京	
開催日(1012年)	5/29	6/25	7/20	8/3	8/29	総計
参加ニーズ企業数	3社	2社	6社	2社	3社	16社
ニーズ件数	14	11	41	15	15	96件
参加シーズ企業数	23社	10社	43社	15社	25社	116社
商談実施件数	32	12	59	16	30	149
商談継続件数	21	9	38	10	17	95件
継続率	66%	75%	64%	64%	57%	64%

KIRは、現在個人会員24名、法人会員3社で運営していますが、今後事業が多岐にわたり、登録会員の増強が必須になってきます。ボランティア精神に富む元気なOB仲間のご参加をお待ちしています。

<お問い合わせ>

<京都事務所> 京都市下京区中堂寺南町134
(財)京都高度技術研究所 8F イノベーションコミュニティ内
Tel : 075-777-6041 e-mail : jimukyoku@kir.or.jp
受付時間 月-金 9:00-17:30

<大阪事務所> 大阪市淀川区西中島6-2-3
チサンマンション 第7新大阪513号

文責 中谷征司(S37)



学年・研究室同窓会開催のご報告

京機22年会(昭和22年卒)同窓会

日時：平成24年11月5日(火) 12:30~15:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪 出席者：14名

夫人同伴の必要な人が増えてきた。台湾の蔡君も体調悪く欠席。この年配になると夫婦共に無事な人は減ってくる。自然に話題は身体の故障のことになるが、戦中戦後に旧制高校、機械教室を過ごした我々には勤労働員、工場実習など懐かしい思い出が多い。

天野君が高校時代の回想記をまとめ、関連して話は尽きない。次回は、平成25年3月25日(月)に、ホテルグランヴィア大阪にて開催。(中井記)



京機23年会(昭和23年卒)同窓会

平成24年11月11日、昨年と同じJR大阪駅構内のグランヴィアホテル大阪で行いました。出席者は8名。18人に案内を出して、伊藤、奥山、山本の三君が永眠、また中村君も鬼籍に入られました。

今回は病から離れた話題での歓談をと思ったが、やはり各人が経験している健康問題が中心話題となった。3時間の飲食も飲は細々になりつつあるが、年に一回の同窓会はやはり昔を思い出させる楽しいひと時で、最近の政治話題の結論が得られないままに閉会となった。

なお、現在同窓会のご案内を差し上げていない方でも、ご参加頂ける方は西岡(TEL: 075-462-9247)までお電話頂ければ案内はがきをお送りします。大歓迎です。

来年は平成25年11月11日(月)に同じ場所で開催します。(西岡記)



皆集まろう会(37会)

37会は昭和37年に1回生で機械系学科に在籍した人達のうち、関東近辺に在住の人の同窓会です。事情があって昭和41年に学部を卒業しなかった人の事も慮り、37会としました。また皆(みな)との語呂合わせも兼ねています。有志で集まっていたのを37会として発足させたのは1984年(昭和59年)で、2005年だけ開催されませんでした。それ以外は毎年1月最後または2月最初の土曜日に開催しており、今年で29回目となりました。場所も毎年同じです。東京での勤務が終わり郷里に帰られた方もおられ、会員は少し減りましたが今年も13人が元気に集まりました。

来年は2014年2月1日に新宿の重慶府(中華料理店)に集まります。新しい方の参加も歓迎します。

(門山記)



昭和53年卒学年同窓会

平成24年10月13日に京都百万遍の「レストランまどい」で、卒業以来初の昭和53年卒学年同窓会を行い、21名の同窓生が集まりました。

35年ぶりの再会という人も多く、また学生時代はクラスが違っていたため、初めて話をする人も居られましたが、それはそれで新たな交流も生まれ、2時間半の時間が瞬く間に過ぎ去る、楽しいひと時を過ごしました。一人ひとり近況報告をしました。孫の話題もちらほら出ていました。宴の終わりには、皆で肩を組んで琵琶湖周航の歌を合唱しました。

(上原記)



退職記念行事のご案内



本年3月31日付で、機械理工学専攻の牧野俊郎教授と宮崎則幸教授が、定年退職されます。
先生方には、永い間有難うございました。

宮崎則幸教授最終講義のご案内

日時：平成25年3月9日(土)
・最終講義
会場：京都大学吉田キャンパス物理系校舎 313室
時間：15：30分～17：30 (14：30受付開始)
「計算固体力学、41年間の研究を振り返って」
・懇親会
会場：京都大学百周年時計台記念館
国際交流ホールII
時間：18：00～20：00
詳細は宮崎研究室のホームページをご覧ください。
<http://solid.me.kyoto-u.ac.jp/Japanese/Japanese-frame.html>

牧野俊郎教授退職記念行事のご案内

- 最終講義および退職記念パーティー -

日時：平成25年3月20日(水/祝)
・最終講義
会場：京都大学吉田キャンパス物理系校舎 101室
時間：13：00～14：30 (12：30 受付開始)
「京都大学での45年を振り返って」
・退職記念パーティー
会場：京都平安ホテル 会費：7000円(予定)
時間：16：00～18：00 (15：30受付開始)
問い合わせ先：若林英信 助教

会員のページ



学年・研究室同窓会開催のご案内

近未来フィロソフィー研究会 ('66卒業生を中心とした会) による「桂キャンパス」見学会のご案内

『今秋10月18日(金)午後』に、母校の転居先である『桂キャンパス』の見学会を兼ねた同窓会を予定しております。是非ご参加下さい。
詳細は8月頃ご案内致します。

(幹事：中嶋邦彦)

泰山会(昭和31年卒)

と き：平成25年5月21日午後
ところ：〈見学会〉 柏原市 日鉄住金ファインテック(株)
〈懇親会〉 JR大阪駅上 ホテルグランピア大阪Abu
次 第：JR大阪環状線内回り 大和路快速 奈良行
大阪13:13 天王寺13:30に乗車、久宝寺
で普通に乗換、柏原で下車、改札口で集合。
見学後、逆周りで大阪駅へ。
幹 事：東 良学、小浜弘幸



学年・研究室同窓会開催のご報告

平成24年11月3日(土)、ホテルグランピア京都で森研同窓会を開催しました。

故森美郎教授の奥様・克子様のご参加もいただき、計63名が出席、懐かしい再会に思い出話が弾み、賑やかで楽しい集いとなりました。今回が全体同窓会の最終として、今後は年代・地区別の小規模同窓会で進めていきたいと考えています。
(曾田記(S42))

森研同窓会



京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただきます。またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。
次号(2013秋号No.33)締切は7月末日です。担当：蓮尾昌裕、富田直秀、小森雅晴、段 智子、中尾美江